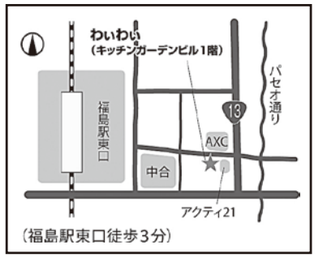
いいたて便り

ひと月のできごとを振り返ってお知らせします

オープンしました！ 12/21 「かーちゃんふるさと農園わぃわぃ」

▲くつろぎのカフェスペース

あぶくま地域のかーちゃん（女性農業者）による「かーちゃんの力・プロジェクト協議会」が中心となり、県の委託事業で産直カフェ「かーちゃんふるさと農園わぃわぃ」をオープンしました。カフェは福島市の市街地にあり、農産物や加工食品、手作り弁当、工芸品を販売する他、ランチやお茶も味わえます。



わぃわぃ
営業時間は午前10時から午後5時45分で日曜祝日が定休日。
問い合わせ先
☎024-573-2634

◀生産者の顔が見える農産物を

東京で開かれた福島の交流会 12/24

東京都千代田区の「東京国際フォーラム」で「げんき咲かそう！ふくしま大交流フェア」が開かれ、県内物産の販売に村酒販店会と「氣まぐれ茶屋ちえこ」が出展しました。また「ふくしま避難者交流会」も同会場で行われ、東京都と周辺に避難する村民が来場して、再会を喜び合い情報交換をして交流しました。

▶交流会には大勢の県人が訪れました

12/29 露天風呂の修理をありがとう

▶修理作業をする若林さん

「いやしの宿いいたて」で、露天風呂の積み石が崩れていた部分を、若林良紀さん（二枚橋）が修理しました。いやしの宿では、若林さんのように「村民が皆で利用する施設だから」と、何人もの村民有志が補修を手がけてきました。こうした厚意に感謝をして、今後も施設を大切に利用したいものです。

いいたて便り

1/6 「タグラグビー」で遊ぼう

◀冷たい風もなんのその！ゲームを楽しみました

吉倉公務員宿舎の駐車場で開かれた「タグラグビー」の講習会。「タグラグビー」はラグビーボールを使って得点を競いますが、タックルの代わりに腰に付けた「タグ（札）」を取るので小さな子どもも安全に楽しめます。集まった子どもたちはルールを教わりながらゲームを行い、思いきり体を動かしました。

寄贈遊具が設置されました

吉倉公務員宿舎には昨年12月、「難民を助ける会」が村に寄贈した２台の遊具が設置されました。「難民を助ける会」は国際的に活動する日本の市民団体で、震災の被災地支援も継続的に行っています。ユニークな形の遊具は子どもたちに人気で、この日も講習の合間に歓声が上げて遊ぶようすが見られました。

▲３～４人で乗れるブランコ

思い新たに村内で出初め式 1/6

▲避難先各所から団員が集まりました

消防出初め式が飯舘中学校（伊丹沢）の体育館で行われました。荒利喜団長はあいさつの中で、団員の献身的な活動に感謝を述べ、さらに「悲しみは悲しみ、苦しみは苦しみとして受け止め、村民が帰還できるまでその財産を守り、一歩一歩前に進むことが大切と考えます」と、一層の尽力を呼びかけました。

1/10 川俣町の幼稚園へ感謝をこめて

村外に避難した村の幼稚園と小学校を、震災後1年間にわたり受け入れてくれた川俣町。村は川俣町内の各幼稚園に、園児が乗って遊べる遊具を贈り、支援に対して改めて感謝の思いを伝えました。贈呈式は、当時、草野幼稚園が園舎を間借りしていた川俣幼稚園で行われました。

▶新しい遊具を楽しむ川俣幼稚園の園児たち